

## 優先交渉権者の選定結果

以下の業務について、公募型プロポーザルにより優先交渉権者を選定したので、結果を公表いたします。

業務名	羽曳野市本庁舎建替整備実施設計及び工事施工		
優先交渉権者	戸田建設・梓設計特定建設工事共同企業体	担当課	総務部管財用地課 庁舎整備推進室

審査日	令和8年3月11日		
選定委員名 (五十音順、敬称略)	区分	氏名	所属・役職等
	委員長	伊藤 弘三	羽曳野市 副市長
	委員	川村 正雄	羽曳野市 都市開発部長
	委員	清水 陽子	関西学院大学 建築学部 教授
	委員	関川 華	近畿大学 建築学部 准教授
	委員	淋 信行	羽曳野市 総務部長
	委員	横田 隆司	大阪大学 大学院工学研究科 教授
審査方法	審査は、一次審査及び二次審査の二段階方式にて行った。 一次審査は、事務局にて実績・体制の定量評価を行い、結果を委員会に報告することで、参加者1者を二次審査参加者として選定した。 続く二次審査では、提出された審査資料と提案のプレゼンテーション、並びにヒアリングにより、選定委員6名全員が提案内容を確認した後、各委員が評価要領に基づいて個別に提案に対する評価を行った。 その結果、二次審査の評価点が満点に対し6割以上となったことから、参加者を優先交渉権者として選定した。		

### 【講評】

「歴史・文化・自然を受け継ぎ安全安心な未来を創る新庁舎」をコンセプトとし、「対話」「コスト」「品質・性能」「スケジュール」「継続性」の5つを事業実施方針として掲げられた提案である。基本設計の内容を踏襲しつつ、構造形式の変更や設備スペースの集約化など、更なる機能充実を図る提案が具体的に提示された。構造形式を鉄筋コンクリート造から鉄骨造へと変更することで、執務スペースの確保、工程への余裕を確保することができる提案であった。

評価項目に即して述べると、「体制」に関して、設計・監理チームと施工チームを統括代理人が取りまとめ市と密な連携が可能な体制が提案されたことが評価された。「コスト」に関して、物価上昇への具体的な対応方法が提案されたこと、「工程」に関して、設計段階から施工チームが参画し、施工業務のフロントローディングを行うことで建設労務を前もって確保する工夫が提案されたことが評価された。

一方、「歴史資産との調和に関する設計提案」においては、展示空間並びに外構・緑化に対する積極的な提案が少なかった。「新庁舎完成後のアフターフォロー、維持管理への提案」に関しても、実施設計段階における提案を期待したい。

令和8年3月11日

羽曳野市本庁舎建替整備事業に関する設計等業務事業者選定委員会  
委員長 伊藤 弘三